※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）家庭演習 B	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「家庭基礎」自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	2025　最新　生活ハンドブック　資料&成分表　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年家庭基礎で学習した基礎的・基本的な知識と技術を発展させ実践的能力を養う学習をします。ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習やロールプレイをとおして発表する力を身につけることを目標とします。

２　学習の到達目標

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する能力を育成することを目指す。

・家庭基礎で学んだ基礎的、基本的な知識と技術を発展ささせ実践する知識を身についている。
・生活全般に関する課題を発見し、解決策を探究し、科学的な根拠等に基づいて創造的に解決する能力を養う。
・課題を解決する力の向上を目指し、自ら学び、生活の向上や社会貢献に主体的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自立した生活に必要な家族・家庭及び福祉、衣食住などについて科学的な理解と技能を身につけるようにする。	家族・家庭や社会における生活の中から問題を見いだして、各自課題を設定する。その課題の解決策を構想し、実践・評価する力を養う。	課題選択、実践計画、発表するという一連の学習において活動の過程を振り返り、反省、自己・相互評価をする主体的態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	食生活をつくる	①食品の保存と加工 ②食事の場面を考えた調理	a:安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食品アレルギー、安全確保するための仕組みに関する知識を身につけ実践しようとする。 b:世界の食生活、マナーを理解し、コミュニケーションとしての食事、ルール、食事作法を理解し実践しようとしている。	小テスト	ﾜｰｸｼｰﾄ 実習・実験課題 振り返りﾚﾎﾟｰﾄ	ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習 実習課題 振り返りﾚﾎﾟｰﾄ
	住生活をつくる	①住居の変遷と住居の機能 ②安全で快適な住生活の計画 ③住生活の文化と知恵 ④これからの住生活 ⑤住宅模型製作	a:生涯を見通した住生活について考え、将来自立するために、生活拠点となる住居の機能やライフステージごとの課題を考えることができる。 ｂ:防災・日照・換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を知り理解し実践に生かそうとしている。	小テスト	ﾜｰｸｼｰﾄ 実習課題 振り返りﾚﾎﾟｰﾄ	ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ 実習課題 振り返りﾚﾎﾟｰﾄ
	子どもと共に育つ	①子どもの育つ力を知る ②子ども遊びの工夫 ③児童文化財製作	a:子どもの育つ力を理解する。 b:「やってみたい」「できるようになりたい」という思いや願いを試行錯誤できる。 ｃ:伝統的な制作物を通して子どもの遊びの重要性を理解しようとしている。	小テスト	ﾜｰｸｼｰﾄ 実習課題 振り返りﾚﾎﾟｰﾄ	ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ 実習課題 振り返りﾚﾎﾟｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度